

# 1・2年 生活科学習指導案

積丹町立余別小学校

児童 1年生 1名 2年生 1名 計 2名

## 1. 単元名

なつの町のようにすをおしえあおう

## 2. 単元について

本単元では、夏の町でかかわった人々のことや夏に体験したことを教えあう中で、夏ならではの町の様子や活動に気づくことが目的である。また、町の中にはまだかかわっていない場所や人がいることに気づかせ、秋の町探検につなげていきたい。春の町探検では、町の人、自然や公共施設に関心を持ち、かかわりを深める活動を行ってきた。また、探検で気づいたことや発見したことを絵や文で表したり、クイズやペープサートなどで表現したりするなどの経験をしてきた。本単元ではさらに劇化するという表現方法を得て、体を力いっぱい動かして表現することの楽しさを伝えたい。

研究主題にかかわっては、1・2年学級では春から伝え合うことの底辺にある話す・聞く力をつけることを重点としてきた。生活科や他の教科で話す・聞く経験を積むことによって、少しずつではあるが自分の意見を相手にわかるように話したり・大事なことを把握しながら聞いたりすることができるようになってきている。それを受けて本単元では、引き続き話す・聞く活動に力をいれながらも話し合う活動を入れることによって伝え合うことにもう一段階近づけたいと考えている。

## 3. 児童の実態

### (1)学級の実態

1年生1名、2年生1名の計2名という少ない人数ではあるが、毎日元気に仲良く活動している。4月は新入生と転入生（2年生）の二人ということで、緊張した様子で表情も硬かったが様々な行事や活動をともしするなかで、すっかりと打ち解けて授業中も堂々と意見をいったり発表したりできる雰囲気になった。学校生活全般において2年生が1年生のよいお手本となっている場面が多い。一方で、2年生の意見にすぐに納得してしまい、真似をしてしまうなど自由な発想がしづらい場合もある。また、2年生は年上としてリーダーシップをとって、優しい気持ちで接することができるようになってきている。上級生ということで自分の出した意見にすぐに決定してしまい、ねりあいが足りないことがある。

2人とも生活科をととても楽しみにしていて、体験活動が大好きである。地域の人とも臆することなくかかわりをもつことができ、面識のない人にも自分からあいさつをしたり話しかけたりすることができる。また学習したことを絵や文でまとめたり、発表したりすることも好きで、すぐに構想をねって集中して取り組むことができる。

### (2)個別の実態

学年	児童	単元に関わる関心・意欲・態度、思考・表現、気づき
1	A	※削除
2	B	※削除

## 4. 指導計画

### (1)単元の目標

#### ①観点別目標

##### ○関心・意欲・態度

- ・夏の町で出会った人や体験したことをくわしく思い出すことができる
- ・夏の町で出会った人や体験したことについて劇で表す際、積極的に意見を出して参加しようとする
- ・夏の町で出会った人や体験したことについてわかりやすく紹介しようとする
- ・地域の人や場所、公共施設とのかかわりに関心をもつことができる

○思考・表現

- ・夏の町で出会った人や体験したことについて、わかりやすく絵と文で表すことができる
- ・夏の町で出会った人や体験したことについて、わかりやすく劇で表すことができる
- ・友達の発表を聞いて成果を受けることができる

○気づき

- ・夏ならではの活動や夏の町の様子に気づく
- ・夏の町で出会った人や体験したことについて振り返ることで、夏の町のよさに気づく

②生活科を通しての目標

- ・事象に対して疑問を持ち課題意識を持つことができる
- ・五感をすべて使って調べるよう意識することができる
- ・体験を通して調べたことや気づいたことをわかりやすくまとめることができる
- ・みんなにわかりやすく発表できる
- ・友達の意見や発表を聞いて考えを深めることができる

(2)単元の個別目標

学年	児童		目標
1	A	関	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏の町で出会った人や体験したことを思い出すことができる</li> <li>・夏の町で出会った人や体験したことについて劇で表す際、楽しく話し合い自分の意見を出すことができる</li> <li>・夏の町で出会った人や体験したことについて自分の言葉でわかりやすく紹介しようとする</li> <li>・地域の人や場所に関心をもつことができる</li> </ul>
		思	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏の町で出会った人や体験したことについて、わかりやすい絵と簡単な文で表すことができる</li> <li>・夏の町で出会った人や体験したことについて、わかりやすく劇で表すことができる</li> <li>・友達の発表を聞いて意図をつかむことができる</li> </ul>
		気	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏ならではの活動や夏の町の様子に気づく</li> <li>・夏の町で出会った人や体験したことについて振り返ることで、夏の町のよさに気づく</li> </ul>
2	B	関	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏の町で出会った人や体験したことをくわしく思い出すことができる</li> <li>・夏の町で出会った人や体験したことについて劇で表す際、構想を楽しく考え、1年生の意見を取り入れながら話し合おうとする</li> <li>・夏の町で出会った人や体験したことについて大勢の人に伝わるように紹介しようとしている</li> <li>・地域の人や場所、公共施設とのかかわりに関心をもつことができる</li> </ul>
		思	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏の町で出会った人や体験したことについて、わかりやすく絵と文で表すことができる</li> <li>・夏の町で出会った人や体験したことについて、わかりやすく劇で表すことができる</li> <li>・友達の発表を聞いて成果を受けることができる</li> </ul>
		気	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏ならではの活動や夏の町の様子に気づく</li> <li>・夏の町で出会った人や体験したことについて振り返ることで、夏の町のよさに気づく</li> </ul>

(3)学年差による配慮事項

学年	配慮事項
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生では、気づいたことや見つけたことをカードに書く際、絵を多く字を少なくすることで、表現する楽しさをもたせたい</li> <li>・夏の町の様子を考えるとき、夏ならではの活動に気づくことをねらいとしたい</li> </ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年生では、絵や文で表す際、相手にわかりやすく伝わるように表現することを求められる</li> <li>・夏の町の様子を考える際、夏ならではの活動に気づくだけでなく、地域の人や場所、公共施設などのかかわりにも目を向けられるようにしたい</li> </ul>

(4)指導計画 (全25時間)

	学習活動	時間	評価の観点・留意事項
第一次	<p>「なつの町のようすを教えあおう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>夏にかかわった人々や体験したことをふりかえる</li> <li>夏に体験したことをカードに書いたり、劇で表したりし、発表する</li> <li>夏の町の様子を思い出し、夏の余別のおすすめなところを紹介し合う</li> </ul>	5 本時 (5/5)	<p>関 夏の町で出会った人や体験したことについてわかりやすく紹介しようとしている</p> <p>思 絵と文、劇でわかりやすく紹介するとともに友達の成果を受けることができる</p> <p>気 夏ならではの活動や夏の町の様子に気づく</p>
第二次	<p>「町たんけん(秋)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>春や夏のころと比べて、かわってきた町の様子について気づいたことを発表し、秋の町探検の計画を立てる</li> <li>町探検をして気づいたこと、考えたこと、感じたことなどをカードに書く</li> <li>見つけてきた木の実やはっぱなどを使って遊んだり、作品をつくらしたりする</li> </ul>	9	<p>関 地域の中の「秋みつけ」を楽しもうとしている</p> <p>思 見つけた木の葉や実を使って遊んだり作品を作ったりすることができる</p> <p>気 地域の自然や人々の暮らしの中からのいろいろな秋を見つけることができる</p>
第三次	<p>「町に行く計画をたてよう(美国町)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行ってみたい場所について話し合い、計画を立てる</li> <li>計画を実行するために行き方や持ち物を決めたり調べ方を決めたり準備する</li> </ul>	3	<p>関 町で人や公共施設と関わりたいという思いを持ち、進んで計画を立てようとする</p> <p>思 町の人や場所・施設にもっと深く関われるように、持ち物や調べ方を工夫している</p> <p>思 計画や準備の仕方がわかっている</p>
第四次	<p>「町に行こう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>楽しい場所や街の人と関わる</li> <li>見つけたことや思ったこと、調べたことをカードなどに書いたり、いろいろな表現方法で表したりして発表する</li> </ul>	5	<p>関 町の人や場所に進んで関わろうとしている</p> <p>思 町での関わりを振り返り、自分の感じたこと等を素直に表現できる</p> <p>気 余別町と美国町との違いに気づき、両方のよさに気づくことができる</p>
第五次	<p>「町のすてきをおしえあおう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>楽しい場所や、お店の人などに関わる</li> <li>見つけたことや思ったこと、調べたことをカードなどに書いたり、いろいろな表現方法で表したりして発表する</li> </ul>	3	<p>関 町で関わった人や場所、公共物について進んで伝えようとしている</p> <p>思 町で関わった人や場所、公共物等の様子を調べてきたことを使ってわかりやすくまとめている</p> <p>気 町にはすてきな人や場所などがたくさんあることや、それと関わって生活する楽しさに気づいている</p>

5. 本時の展開

(1)本時の目標

- ①夏の町の様子を思い出し、気づいたことを相手にわかるように話すことができる。(思・表、気づき)
- ②夏という季節に興味をもち、すすんで夏ならではの町の様子を見つけようとするすることができる。(関・意・態)

(2)学習の展開(5 / 5)

○子どもの活動と意識の流れ ◇教師の支援・手だて ◎は評価の観点

	子どもの活動と意識の流れ	教師の支援・手だて	一人ひとりへの配慮・評価等
つかむ	○前時まで ・夏の町の様子や気づいたことをカードに表したり、劇にしたりしている。		
	○夏クイズに答える ・ハテナボックスに手を入れて、触感で箱に入っているものを当てる	◇夏ならではのものを入れ夏を感じることができるようにする	・箱の片側を空洞にし、見ている児童も楽しめるようにする
<b>なつのまちをおしえあおう！！</b>			
かんがえる・ふかめる	<p>○本時の課題を知る</p> <p>○夏の余別といえば [ ] を考える</p> <p>・体で表現できるものはみんなでやって見る</p>	<p>◇体験したこと・見たこと・感じたことを詳しく聞き、より鮮明に思い出せるようにする</p> <p>◇写真や具体物を用意し、思い出しやすいように工夫する</p> <p>◇前時までにつくったカードや劇の内容がでてきたらそのつど紹介したり、発表してもらったりし前時までの活動を思い出せるようにする</p> <p>◇必要があれば夏クイズのハテナボックスに入っていたものを、ヒントとして出す</p>	<p>◎確かな伝え合いのための場の設定と評価 (発言)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生は夏の町でしたことや感じたことを単語で言うことができればよい</li> <li>・2年生は「交通量が多くなった」「観光客が増えた」などのことに気づけるようにする</li> <li>・前時までにカードをつくる際、1年生は絵の部分が多く、2年生は文を詳しく書くことができるようカードをくふうしておく</li> </ul>
	○夏の余別でおすすめなところを紹介する ・考えを交流し合う ・カードに書く(理由も書く) ・発表する	◇教師も児童の一人となって一緒に活動することで、1つでも多く考えにふれることができるようにする	◎確かな伝え合いのための場の設定と評価 (発言・記録)
まとめる	<p>○夏の余別町の様子やおすすめなところを振り返る</p> <p>○夏の町と今では少しずつ町の様子が変わっていることから、これから秋になることに気づく</p> <p>○秋にも探検に行くことを知り、楽しみにする</p> <p>秋の町はどんなふうにかわるかな? 秋も探検たのしみだな！！</p>	<p>◇板書や写真、具体物などを見ながら授業全体を振り返ることができるようにする</p> <p>◇秋には余別だけでなく、美国町にも探検に行くことを伝え、より探検を楽しみにすることができるようにする</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考える・深める・まとめる活動を通して1年生も「交通量が増える」「観光客が増える」ことを押さえることができるようにしたい</li> <li>・自然や町の様子がどのようにかわるか問題意識をもつことによって普段の生活で、秋を意識することができるようにする</li> </ul>

(3) 本時の評価

- ①夏の町の様子を思い出し、気づいたことを相手にわかるように話すことができたか。(思・表、気づき)
- ②夏という季節に興味をもち、すすんで夏ならではの町の様子を見つけようとすることができたか。(関・意・態)

6. 単元の評価

◇個別評価

学年	児童		目標
1	A	関	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏の町で出会った人や体験したことを思い出すことができたか</li> <li>・夏の町で出会った人や体験したことについて劇で表す際、楽しく話し合い自分の意見をすることができたか</li> <li>・夏の町で出会った人や体験したことについて自分の言葉でわかりやすく紹介しようとしていたか</li> <li>・地域の人や場所に関心をもつことができたか</li> </ul>
		思	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏の町で出会った人や体験したことについて、わかりやすい絵と簡単な文で表すことができたか</li> <li>・夏の町で出会った人や体験したことについて、わかりやすく劇で表すことができたか</li> <li>・友達の発表を聞いて意図をつかむことができたか</li> </ul>
		気	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏ならではの活動や夏の町の様子に気づくことができたか</li> <li>・夏の町で出会った人や体験したことについて振り返ることで、夏の町のよさに気づくことができたか</li> </ul>
2	B	関	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏の町で出会った人や体験したことをくわしく思い出すことができたか</li> <li>・夏の町で出会った人や体験したことについて劇で表す際、構想を楽しく考え、1年生の意見を取り入れながら話し合おうとすることができたか</li> <li>・夏の町で出会った人や体験したことについて大勢の人に伝えるように紹介しようとしていたか</li> <li>・地域の人や場所、公共施設とのかかわりに関心をもつことができたか</li> </ul>
		思	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏の町で出会った人や体験したことについて、わかりやすく絵と文で表すことができたか</li> <li>・夏の町で出会った人や体験したことについて、わかりやすく劇で表すことができたか</li> <li>・友達の発表を聞いて成果を受けることができたか</li> </ul>
		気	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏ならではの活動や夏の町の様子に気づくことができたか</li> <li>・夏の町で出会った人や体験したことについて振り返ることで、夏の町のよさに気づくことができたか</li> </ul>

◇単元の評価規準

単元の評価規準	
単元のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏の町で出会った人や体験したことを詳しく思い出したり、カードや劇で表現したりすることにより、夏という季節に興味をもち、夏ならではの町の様子に気づく</li> <li>・気づいたことを相手にわかるように話したり、話し合ったりすることができる</li> </ul>
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏という季節に興味を持ち、すすんで夏の町の様子を見つけようとする事ができる</li> <li>・積極的に意見を出して、楽しく劇をつくろうとしている</li> </ul>
思考・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験したことなどをもとに夏の町の様子を思い出し、気づいたことをわかりやすくカードに表すことができる</li> <li>・体験したことなどをもとに夏の町の様子を思い出し、気づいたことをわかりやすく劇に表すことができる</li> <li>・気づいたことを相手にわかるように話すことができる</li> </ul>
気づき	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏の町の様子を思い出し、夏ならではの町の様子に気づく</li> <li>・夏の町のよさに気づく</li> </ul>